

## 今週（3月27日から3月31日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、年度末融資や年度末諸払い等の余剰日が多く、日銀当座預金残高は340兆円台での推移となった。年度末を週末に控え、運用希望が減少したこともあり、先週より無担保コールO/N加重平均レートは低下した。朝方は地銀、証券業態の調達サイドを中心に▲0.07～▲0.02%の幅広いレンジでの出会いが見られ、一巡後は▲0.075～▲0.035%での取引が見られた。大手行の調達は▲0.07%となっていた。31日は年度末ということもあり、普段の月末日よりも更に調達を見送る先が多く、地銀数行から▲0.05～▲0.035%、証券業態から▲0.08～▲0.075%の調達希望が見られた程度で、それにギブする展開となっていた。大手行の調達は見られなかった。先週実施された国債売現先オペの影響で、債券レポレートは大幅上昇したものの、無担保コールO/Nには特段影響は見られなかった。ターム物については、年度末を越えることから、月内エンドの期日物が中心の出会いとなっていた。4月スタートはロール物を中心に出会いが見られた。

固定金利方式の共通担保オペは、30日に2W（4/3～4/17）・8,000億円でオファーされ、2,980億円（期落ち額3,050億円）の応札があった。

### ●レポ市場

今週のGICは、週初、27日のT/Nは、先週24日に国債売現先オペがオファーされたことや短国買入オペが見送られたことで、売り手の資金調達意欲が強く、▲0.04%中心の出会いで始まった。その後も、レートは強含みで推移し、29日のT/Nでは、▲0.02%の出会いもみられた。期末初の取引となった29日のS/N、30日のT/Nでは、売り物がほとんど見えず、▲0.80～▲0.40%の引合い。30日のS/Nでは、期末要因が剥落したことから、レートが上昇し▲0.08～▲0.06%中心の出会い。31日のT/Nでは、▲0.04%までレートが上昇した。S/Nでは、目立った要因がなかったことから、レートは▲0.05%中心の取引となっていた。

SCは、新規・ロールオーバーともに幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では、2年債370～374回、5年債126～131回、10年債340～346回、20年債159～160回、30年債50～54回、40年債9回にビッドが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、期末要因から担保需要が見られる一方、年度内の短国買入オペが見送られたことから全般的に軟調な展開となった。

短国の入札は無く、閑散とした地合いが続いた。30日より受け渡ししが新年度となったものの、31日の17時に発表される4月の買入方針を控え、動意に乏しい展開が続いた。出会いとしては、3M物で▲0.28～▲0.20%、1Y物で▲0.285%が少額散見された程度であった。

31日に発表された国庫短期証券の買入れ方針では、「4月末の残高を30～32兆円程度とすることをめどしつつ、金融市場に対する影響を考慮しながら1回当たりのオファー金額を決定する」と発表された。3月末の日本銀行の国庫短期証券買入残高（金融機関からの買入残高）は32兆5,456億円と見込まれ、その内4月中に償還を迎えるものは5兆3,815億円であることから、4月に実施される短国買入オペは合計3～5兆円程度と予想される。

### ●CP市場

CP市場は、入札ベースでの週間償還総額が3兆6,000億円弱に対し、週間発行総額は1兆3,000億円程度と発行残高が大きく減少した。ノンバンク等の発行増大が金融法人等の減少を補ったことで、期末残高は13兆円弱と昨年と概ね横ばいとなった模様。29日の入札では、ゴム製品・食料品・石油・建設等の幅広い業態において発行が見られたものの、期末決算を控えた一般事業法人による大幅な有利子負債削減の動きが見られたことから、通常の月末と比較して資金調達ニーズは弱かった。発行レートについては、CP等買入オペの売却を見込んだ強い買いが無くなり、極端なレート低下は見られなくなったものの、依然として投資家の運用ニーズが0%付近では根強く、0%～極小幅のプラス圏での決着が大半であった。

28日にはCP等買入オペが6,000億円で実施された。期末越え物の発行量が激しく減少する中、今年度最高のオファー額が提示され、買入レートが大幅に低下することが期待されていた。しかし、入札結果は平均落札レート▲0.030%・按分落札レート▲0.037%と前回（平均▲0.021%・按分▲0.032%）比で若干の低下にとどまった。応札額が1兆3,267億円とオファー額の2倍以上になる等、業者が大量の銘柄を抱えていたことがレート低下に歯止めを掛けた主因だと考えられる。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
3/27（月）	18,985.59	0.055	110.39	△0.044	△0.043	3,409,100
3/28（火）	19,202.87	0.055	110.57	△0.047	△0.042	3,415,900
3/29（水）	19,217.48	0.050	111.22	△0.046	△0.030	3,414,100
3/30（木）	19,063.22	0.060	111.35	△0.046	△0.665	3,432,000
3/31（金）	18,909.26	0.065	112.05	△0.060	△0.057	3,428,200

## 来週（4月3日から4月7日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/3 (月)	4月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50)				2月の米建設支出 3月のISM 製造業景況指数
4/4 (火)	財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00) 3月のマネタリーベース(日銀 8:50)	TB3M 44,000億円 4/6発行	10Y 23,000億円 4/6発行		2月の米貿易収支 2月の米製造業新規受注・出荷・在庫
4/5 (水)	4月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	TB6M 29,000億円 4/10発行			3月のISM 非製造業景況指数
4/6 (木)	3月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TB3M 44,000億円 4/10発行	流動性供給 5,000億円 4/10発行	交付税借入 10,500億円 4/14借入	
4/7 (金)	3月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 2月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 9:00) 2月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)				2月の米消費者信用残高 3月の米雇用統計

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/3 (月)	1,300	▲ 3,700	▲ 2,400	全店共通 国債売現先 国債補完 CP買入	▲ 3,100 10,000 24,200 ▲ 200	3,000	33,900	31,500	期限前税揚げ
4/4 (火)	3,000	2,000	5,000	国債買入		11,300	11,300	16,300	普通交付税 地方特例交付金 税・保険料揚げ 社会保障費
4/5 (水)	2,000	5,000	7,000				0	7,000	
4/6 (木)	1,000	▲ 20,000	▲ 19,000				0	▲ 19,000	TB3M発行▲44000償還42900 10Y発行▲23000 恩給
4/7 (金)	0	6,000	6,000				0	6,000	
週間合計	7,300	▲ 10,700	▲ 3,400	—	30,900	14,300	45,200	41,800	

4/3は日銀予想、4/4以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、年度末にかけて調達を控えていた先が再度調達を行うと見られ、無担保コールO/N加重平均レートは若干上昇する見通し。

短国市場は、4日に3M物、5日に6M物、6日に3M物の入札が予定されている。直近では流通利回りが大幅に上昇しているため、入札結果が注目される。7日の短国買入オペは、31日に発表された国庫短期証券の買入方針から、1~1.75兆円程度のオファーが予想される。オファー額によっては、水準感の更なる上昇なども考えられる。

CP市場は5日にCP等買入オペが前回比2,500億円の減額となる3,500億円程度で実施される予定となっている。期明け初のオペとなり、3月末のレートから大きく上昇することが見込まれる。

主要なイベントとしては3日の日銀短観、7日の3月の米雇用統計などが挙げられる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入